



校長室だより

R4. 10. 7. 号

岐阜市立東長良中学校

前期終業式

早いもので、4月の始業式がつい最近のことのように思われますが、今日で令和4年度の前期が終わります。4月の始業式では、こんな話をしました。「東長良中学校に勤務するとわかった時、真っ先に令和元年の悲しい出来事が頭に浮かびました。今の生徒の皆さんや先生方は、どうしているのだろうか。重い荷物を背負って苦しんでいないかと。ただ、生徒会の皆さんが中心となって取り組んでいる **HERO** プロジェクトを聞き少しだけ安心しました。」と。

そのとおり、**HERO** 宣言、東郵便、円怒囀タイム、ヒーローズの活動などによって、一人一人の居場所と幸せを大切にする4つの校風は、着実に東長良の校風として育っています。令和元年に東長良中学校に在籍した生徒は、今の東長良中学校にはいません。だけれど、だからこそ、先輩の意思を引き継ぎ、いじめを克服する **HERO** プロジェクトを進めていかねばなりません。ひとりの重い命を決して、無駄にはなりません。

いじめ克服というとマイナスをゼロにする取組。そう感じるかもしれませんが、本校の取組はそれだけではありません。一人一人の居場所と幸せを大切にする取組です。君たちの人間力を成長させるプラスの取組です。前期の取組を見て、改めて感じました。

さて、進路委員さんが校長室にきて学級目標やそこに込められた思いを語ってくれました。また、友情合宿、立志合宿や修学旅行に際して、皆さんに話をしました。その時、一貫して、「楽しみましょう。こんなに楽しい仲間と同じ学級で良かった、同じ学年で良かったと。そんな思いが持てるよう。」と言ってきました。楽しめればいいと。そこには、こんな思いがありました。これから卒業まで共に生活する学級、学年です。今後、互いに協力し合うことが出てきます。また、時には、仲間に対して厳しい指摘をすることもあるかもしれません。そんなとき、前提になるのは、自分の学級、自分の学年が「好き」ということだからです。

今一度、自分の学級の学級目標を見てみましょう。そこにはどんな願いがありましたか。ほとんどの学級目標には、一人一人が輝く、そしてその一人一人がまとまる、そういった願いが込められていたように思います。前期、皆さんが所属する学級、学年、委員会、あるいは部活動は楽しかったでしょうか。学級の活動を振り返り、楽しかったと思える人は、それで十分です。残念ながら、そう思えなかった人、これからきっと楽しいと思える時が来ると信じて、前期を終わらしましょう。後期には、その楽しい仲間たちとさらに自分を高める取組が待っています。わずかな期間の秋休みとなりますが、健康や事故に十分気をつけて過ごしてください。また始業式で皆さんに会えることを楽しみにしています。